

2018年01月15日(月)

改修工事の効果を発揮

昨年3月に雪道交通における要衝とされている国道9号笠波峠の散水融雪設備を改修しました。昨年までは峠の頂上付近では散水量が不足気味となっていました。今回取水設備及び取水ポンプ、散水ポンプを交換する事で十分な水量が確保され、今シーズンの降雪に対し早速効果を発揮しています。

机上での設計や施工後の散水テストにより、必要散水量が確保できていると分かりますが、実際の融雪状況を見ると、その機能を存分に果たしていることを実感する事ができます。



笠波峠頂上付近の散水融雪状況

無散水融雪の効果を発揮

昨年3月開通の八鹿日高道路に新設した無散水融雪設備が、この冬その効果を発揮しています。この設備の特徴は、

1. 自然熱である地熱のみを熱源とし、環境負荷を低減している。

2. 凍結や雪が積もりやすい橋梁部では融雪パワーを最小限にし通常の盛土部道路の積雪状態まで融雪を行う。

3. トンネル出口付近はスリップ事故が起こりやすいため通常パワーで融雪を行い、出口から遠ざかるに従い徐々にパワーを低下させる。

この様な運用により、徹底した費用対効果を実現した新時代のスマート融雪設備であると自負しています。

融雪装置が設置されているのに雪は積もってしまう。しかし実は計算された積雪状態をつくり出しているのです。



三谷トンネル豊岡側（トンネル出口手前）



三谷トンネル豊岡側（トンネル出てすぐ）



三谷トンネル豊岡側（ゆずり車線手前）

噴射実験

和歌山河川国道事務所様より「高川樋門排砂装置設置工事」を受注しました。この工事は樋門の門扉の先端に水の噴射ノズルを取り付け、その閉門の際に水圧により河床の堆積物を除去するものです。この妥当を検証する為、川に見立てた水槽に水と堆積物を入れ、実際に取り付けるノズルを用いて噴射実験をしています。なお実験中のため、結果については割愛いたします。



川に見立てた水槽



噴射後に水を抜き確認します

2018年04月12日(木)

高川樋門排砂装置工事を竣工

和歌山河川国道事務所様より受注していた、「高川樋門排砂装置設置工事」を竣工させました。この装置は、樋門を閉め切る際に河床の堆積物を水の噴射により除去する為のもので、当社にとれば河川水利用の散水融雪設備で培った技術の応用となりました。

また今まで当社が請け負った中では最も遠方での工事であったため、現地で直接作業にあたる者、会社で支援業務にあたる者、各々の役割を果たす事で、この工事を無事に引き渡す事ができました。



高川樋門全景



水を噴射し河床の土砂を除去します



2台のポンプを用いて河川水を組み上げます

2018年05月16日(水)

法面を補修しました

国土交通省八鹿国道維持出張所の裏手にある法面を補修しました。コンクリートで覆う事により、耐久性はもとより雑草などが生えて下の水路に流れ込む事も無くなるため、周辺環境の向上にもなりました。



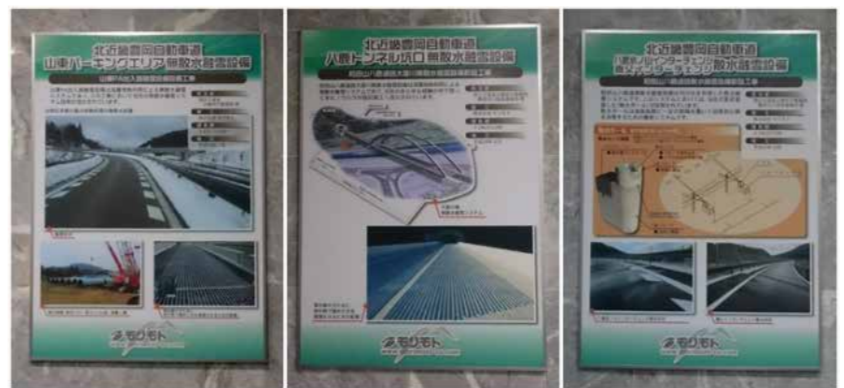
補修前



コンクリートで補修

施工実績紹介パネルを作成

昨年3月に開通した八鹿日高道路において、地熱利用の無散水融雪設備を施工しました。その工事を紹介するパネルを作成し、当社玄関に掲示しています。また過去に施工した、春日和田山道路、和田山八鹿道路での施工実績紹介パネルも併せて掲示しています。当社へお越しの際は、是非ご覧下さい。



今までに作成した北近畿豊岡自動車道に関する施工実績紹介パネル

新たに作成した八鹿日高道路の施工実績紹介パネル

2018年07月12日(木)



清掃活動へ参加しました

兵庫県建設業協会南但支部が毎年実施する清掃活動へ参加しました。協会加入各社の皆さんと共に、南但地域のポケットパークでポイ捨てされたゴミを回収する事で、少しでも環境美化に努める事が出来たと感じます。



国道312号線 八鹿町宿南地内



宮津養父線 八鹿町下網場地内

2018年08月17日(金)

災害復旧工事

7月の西日本豪雨の影響により、当地方でも道路法面崩壊などの災害が発生しました。地域インフラである生活道路を1日でも早く復旧させる事も、建設業者としての大切な役割であります。



災害発生時

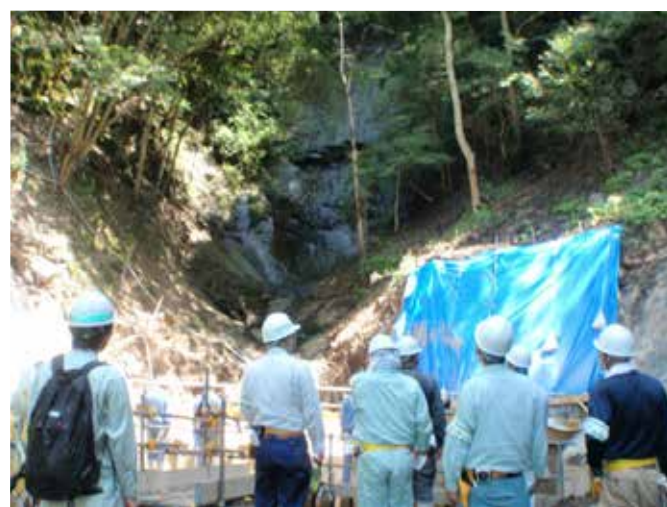


復旧完了

2018年08月20日(月)

建災防安全パトロール

建設業労働災害防止協会が行う安全パトロールに参加しました。今回パトロールの対象となった会社の現場における安全への取り組み、協会員の方々からの意見を参考に、当社の安全対策を高めていきたいです。



2018年09月13日(木)



猿谷ダム排水設備改修工事を受注

近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所様より、奈良県五條市の熊野川上流にある猿谷ダムの、堤内排水ポンプ設備の改修工事を受注しました。

この工事は、ダム本体内部に設置してある排水ポンプ等の設備を更新することで、排水機能維持を図るものです。ダムの中での工事は初めてとなりますが、今まで培ってきた機械設備工事の経験とノウハウを活かし、工事完成を目指します。



ダム湖側より



ダムの真上より

2018年10月15日(月)

夜間メンテナンス作業

北近畿豊岡道では毎年この時期の夜間に一定区間を通行止めにして、道路のリフレッシュ工事と道路付帯設備のメンテナンス作業が行われています。当社は消融雪設備等の点検整備を請け負っており、車両が通行する日中では制限される作業も、このタイミングで行う事ができます。各種の設備が普段当たり前のように動くのは、このようなメンテナンスにより維持管理を行っている結果なのです。



安全のため目立つよう駐車します



高架道路外側の設備を点検します

2018年10月16日(火)

散水テストが始まりました

今年も融雪設備の散水テストの実施時期となりました。これが始まると、冬が近づいてきた事を実感します。ご通行中の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、これも冬季の道路交通安全のためですので、ご協力をお願いします。



夜久野峠での散水試験



散水量などを調整します

2018年11月12日(月)

清掃ボランティアを行いました

当社のある地区内に、国道をくぐる地下道があります。そこは当社もよく利用するため、定期的にゴミ拾いをしてきました。しかし長年に渡って使われてきたため、近年の豪雨では度々冠水していました。そこで今回地区の了解を得て、会社として地下道の清掃ボランティアを実施しました。多くの土砂やゴミ、排水ピットの汚泥を除去した事で環境改善が図れ、地区のお役に立てたかと思えます。



土砂とゴミ拾い、洗浄をしました



排水ピット内の汚泥を除去しました



清掃後のアンダーパス



清掃後のアプローチ部。奥に社屋が見えます。

2018年11月19日(月)



インターンシップ生を受け入れました

10月15日より2週間、兵庫県立但馬技術大学校1年生を1名、インターンシップ生として受け入れました。CADでの製図、測量実習、施工管理や現場作業の補助業務等を経験してもらいました。実際の現場での色々な経験をこの先の勉強に役立てて、卒業後は建設関係の第一線での活躍を期待します。



CADでの製図作業



水道管布設現場での計測補助



閉講式での体験発表

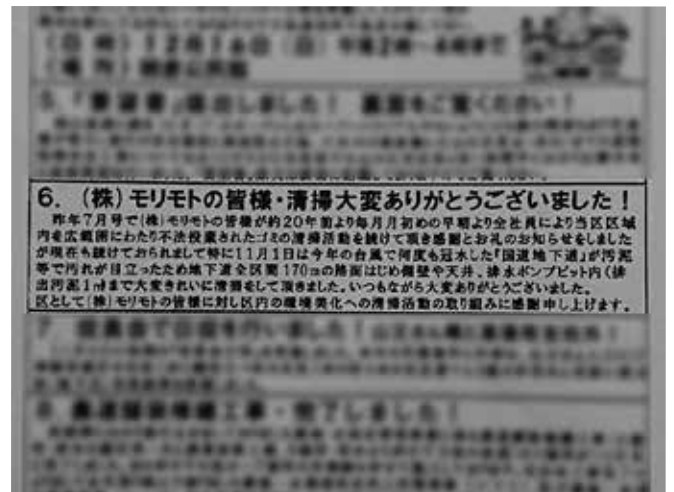
2018年12月14日(金)

清掃ボランティアが紹介されました

先月実施した清掃ボランティアが、当社のある朝倉地区内の広報誌で紹介されました。地区のお役に立てた事をこの様に広報いただき、感謝申し上げます。これからも地域で必要とされる企業であり続ける様、精一杯努めていきたいと思えます。



朝倉地区広報



記事拡大